

コンパス薬局横浜西 スキルアップ勉強会

2020.3.19 猪野

『アレサガテープ』

久光製薬 久島 様

花粉症はアレルギー疾患のため、治療にはアレルギー反応を抑える薬を使用している。アレルギー反応を抑える薬にはたくさんの種類があるが、花粉症の治療に使われる薬は「抗ヒスタミン薬」と呼ばれる医薬品になる。

この抗ヒスタミン薬は、開発された順序で第一世代と第二世代に分類される。現在では、ほとんどの花粉症患者の方が第二世代の抗ヒスタミン薬を使用している

【効能・効果】

アレルギー性鼻炎

【用法・用量】

通常、成人にはエメダスチンフマル酸塩として1回4mgを胸部、上腕部、背部又は腹部のいずれかに貼付し、24時間毎に貼り替える。なお、症状に応じて1回8mgに増量できる。

【重要な基本的注意】

- ・眠気を催すことがあるので、本剤使用中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないよう十分注意すること。更に、日常生活に支障がみられる場合があるので、本剤使用に際してはこのことを患者に十分説明しておくこと。
- ・本剤4mg使用時と比べ、本剤8mg使用時には眠気の発現率が高い傾向があるため、眠気等の発現に特に注意すること。
- ・本剤の使用により効果が認められない場合には、漫然と長期にわたり使用しないように注意すること。

【適用上の注意】

貼付部位

- ・創傷面又は湿疹・皮膚炎等がみられる部位は避けて貼付すること。
- ・貼付部位の皮膚を拭い、清潔にしてから本剤を貼付すること。また、貼付部位の水分は十分に取り除くこと。

- ・本剤の貼付による皮膚刺激を避けるため、貼付箇所を毎回変更すること。

貼付時

本剤は1日毎に貼り替えるため、貼付開始時刻の設定にあたっては入浴等の時間を考慮することが望ましい。

貼付期間中

本剤が途中ではがれ落ちた場合は、直ちに新たな本剤を貼付すること。また、次の貼り替え予定時間には新たな本剤に貼り替えること。

【考察】

アレサガテープは、日本初の経皮吸収型抗ヒスタミン薬である。

テープ剤の利点の一つは、血中濃度を維持しやすいという点であり、半減期も約13時間の為、剥がした後もしばらくは効果が持続している。

また、嚥下困難患者にとっては使用しやすい薬と考えられる。

大抵の嚥下困難患者には、口で溶けるOD錠や粉薬が使用されるが、薬の服用は本人にとっても、介護者にとっても負担となっていることが多くあり、その点では貼付剤は負担軽減につながると考えられる。

しかし、他の抗ヒスタミン薬と同様に眠気には注意が必要である。

【質問事項】

Q 1、血中濃度の立ち上がりが遅いが、即効性はないのか。

A 1、即効性はない。貼付剤のため立ち上がりは緩やか。

Q 2、貼付部位により血中濃度の差があるのか。

A 2、それぞれ血中濃度立ち上がりは異なる。腰は立ち上がりも遅いため、別の部位の方が良い。

Q 3、アレサガテープはなぜ4mg、8mgで作られたのか。

A 3、4・8・12mgで検討していたが、12mgでは血中濃度が上がりすぎ、副作用の眠気も強く出たため、4・8mgになった。

Q 4、何歳以上で使用可能か。

Q 4、15歳以上。